

令和2年度実施事業報告

支援対象等	実施事業名等	事業内容	
大学 支援 事業	学部学生	保険加入支援事業	学部新入生の内、教育後援会入会者1,319名に対して「学生教育研究災害傷害保険(「学研災」)」「学研災付帯賠償責任保険(「付帯賠償」)」の4年分(医学部は6年分)の加入料を負担。合計で643.6万円。
	短期留学支援事業	国際センター主催事業の海外留学 学部学生に対し、教育後援会入会者には短期留学(語学研修を含む)にかかる学研災付帯海外留学保険料を補助。今年度は新型コロナウイルス感染症により春・夏ともに短期海外留学中止のため短期留学者無し。	
	キャリアデザイン 就職支援事業	①就職支援(就職支援室主催・教育後援会後援) You tube、Zoom・ウェビナー、Zoom・ミーティングで実施。 ガイダンス:「インターンシップ・就職活動の基礎知識」、インターンシップのための「自己分析講座」「エントリーシート書き方講座」「マナー・面接対策講座」、「オンライン選考対策講座」、「適性検査の基礎知識」、「グループディスカッション講座」など。実施日数17日、参加延べ人数380名。 セミナー:業界・企業研究オンラインセミナー、官公庁限定業界研究オンラインセミナー、学内企業オンラインセミナーなど。実施日数59日、参加延べ企業・団体数599社、参加延べ人数4,111名。 ②就職手帳の作成等支援 80万円。	
	クラブ・サークル 支援事業	活発な活動を行っているクラブ・サークルへの支援。 58団体 活動支援金 600万円。新型コロナウイルス感染症による活動制限等で138.7万円返金。 全天候型グラウンドの工事及び武道館の耐震工事に伴う他施設への代替使用料負担を支援111.9万円。	
	学生行事助成事業	大学祭、ポート祭等の学生行事6団体に対して助成。170万円。 新型コロナウイルス感染症のためポート祭、三商戦、府大戦、大学祭が中止。	
	クラブ・サークル 特別支援事業	大音楽練習室内小部屋と第1音楽練習室の防音改修工事、換気面・耐震面・防音面から練習室として使用できない第3音楽練習室を音楽系団体共有の倉庫に改修工事を行ない、音楽系クラブ・サークルが有効活用できるように整備。800万円	
	TOEIC・TOEFL・IELTS 受験料補助事業	TOEIC(111名)、公開TOEIC(181名)、TOEFL(5名)、IELTS(3名)、英検1級(4名)の受験者延べ304名への受験料補助 計82.5万円。 (補助額 TOEIC2000円、公開TOEIC3000円、TOEFL・IELTS 5000円、英検1級5000円 補助年2回限り)	
	顕彰事業	①学修奨励賞37名 大学選考の成績優秀者2年次学生に副賞を授与 計18.5万円(図書カード@5,000×37名) ②学業成績優秀賞9名 大学選考の最優秀成績習得の4年次生(医学科は6年次生)に副賞を授与 計67.5万円(高級腕時計) ③課外活動賞 次の各受賞団体と個人に表彰状と副賞を授与 最優秀課外活動賞 1団体・1個人 優秀課外活動賞 2団体・2個人 優秀課外活動新人賞 1個人 資格試験優秀成績賞 10個人 (公認会計士4名、公開TOEIC900点以上6名) 計66万円	
	学生国際交流事業	新型コロナウイルス感染症により、大学と共催で開催している留学生と日本人との国際交流会を春・夏ともに中止。	

大学支援事業	学部学生	学部学生旅費等補助事業		新型コロナウイルス感染症の影響に伴い募集を停止することとしたが、相談対応することとした。 相談件数 0件
		エッセイ活動支援事業		学生の社会貢献活動や社会的課題解決の取組を促進する活動に大学と共催で支援を実施。 7団体合計125.1万円
		100円朝食支援事業		学生に朝食を食べる習慣をつけ健康で健全な学生生活を援助するため、生協の協力でメニューを作成し、杉本とあべので実施。延べ2,119人が利用した。 新型コロナウイルス感染症のため、10月19日～12月23日(あべのは12月11日まで)で実施。(例年は約1ヶ月間実施) 総額42.4万円
		その他支援事業		学生への助成支援 ①キャンパスライフ・学生相談のご案内 18万円 ②「教育再生加速プログラム」支援 100万円 ③課外活動制限による施設使用キャンセル料の負担を支援。74.3万円。 ④全学共通教育科目授業への支援など。 6.5万円
	大学院学生 教員	保険加入支援事業		大学院新入生の内、教育後援会入会者116名に対して「学生教育研究災害傷害保険」(学研災)、「学研災付帯賠償責任保険」(付帯賠償)の加入料負担。合計30.5万円。
		大学院学生旅費等補助事業		新型コロナウイルス感染症の影響に伴い募集を停止することとしたが、相談対応することとした。 相談件数(申請)3件 オンライン学会の参加費を補助。 計15,000円(各5,000円)
		女性研究者支援事業		女性研究者への支援事業として、女性研究者奨励賞(岡村賞)で、特別賞、大学院生奨励賞・博士研究員奨励賞を表彰された方に副賞を授与 計20万円
	学部・研究科	顕彰事業	優秀教育賞	①平 知宏・准教授(大学教育センター) 言語理解に関する認知心理学・認知科学的研究の専門家として、心理学、認知科学や教育学関連の科目を担当し、教育実践や教育方法の開発、本学における全学的な教育に関する企画・運営に大きく貢献。 ②渡辺 一志・教授(都市健康・スポーツ研究センター) 健康運動科学の専門家として、「健康・スポーツ科学科目」の講義「健康運動科学」や実習「健康運動科学実験実習、アーチェリー」などの全学共通科目を37年に渡り担当。また、初年次学生の教育としての総合教育科目A「大阪市大でどう学ぶか」の中の「大阪市大で学ぶ(身体の健康管理)」を担当し、学生の健康やスポーツ教育に大きく貢献。 計20万円(各10万円)
			優秀テキスト賞	①石田 佐恵子・教授(文学研究科) 『基礎ゼミ メディアスタディーズ』 ②金子 幸弘・教授(医学研究科) 『染方史郎の楽しく覚えず好きになる、感じる細菌学x抗菌薬』 ③高橋 英治・教授(法学研究科) 『ヨーロッパ会社法概説』 ④羽生 大記・教授(生活科学研究科) 『人体の構造と機能及び疾病の成り立ち “臨床医学” (南江堂)』 ⑤松下 大輔・教授(生活科学研究科) 『建築のインテリアの本』 ⑥除本 理史・教授(経営学研究科) 『きみのまちに未来はあるか?——「根っこ」から地域をつくる』 計30万円(各5万円)

大学支援事業	教職員	学部・研究科学生支援事業	①経営学研究科 対面の少人数教育授業の実践に対する経費の一部を支援。 20万円 ②研究を発信する機会の確保・研究交流促進・多言語による研究発表など国際的な研究成果発信の指導・支援事業のためのフォーラム開催費用の一部を支援。 35万円 ④看護学研究科 PCR検査、抗体検査および抗原検査の原理と手法を理解するための実験を行う経費の一部を支援。 45万円
	環境整備	夢基金寄附事業	全天候型グラウンド整備予定費 1,000万円
		学内環境整備事業	①1号館前芝生広場の整備事業（本館地区前庭デザイン提案ワーキング）。 3.9万円 ②課外活動団体の機器・機材等運搬にかかる支援。 75.3万円
	図書整備	学生選書助成事業	学術情報総合センターの学生選書事業としてセンター及び医学部分館に図書を寄贈し、センター2階には教育後援会寄贈図書コーナーと就職関連図書コーナーを設けている。100万円。
	新型コロナウイルス対策支援		遠隔授業にかかる経費及び生活困窮学生支援にかかる経費の一部を支援 1,000万円
会員サービス事業	保護者	新入生保護者懇談会	5月25日(土) 第1部：全学懇談会 第2部：学部別懇談会 第3部：懇親会 新型コロナウイルス感染症拡大予防対策のため中止 チラシ作成費 8万円
		保護者就職説明会	11月21日(土) 『あなたは就職活動の良きサポーター』 第1部：「市大の就職状況」 第2部：「保護者のための就職応援講座」 第3部：市大OB・OG人事担当者による講演 新型コロナウイルス感染症拡大予防対策を講じて会場参加型とオンライン同時配信による開催 会場参加者98名 オンライン配信申込件数145件 チラシ作成・送料代 57万円
		保護者交流支援事業	第1企画 令和2年9月26日(土) 『和飲(ワイン)を楽しむ一日』 (羽曳野市：ワイン館) 参加者32名 第2企画 令和2年10月24日(土) 『江戸時代にタイムスリップ』 (大阪くらしの今昔館) 参加者43名 第3企画 令和2年11月28日(土) 『私市にある市大植物園へ太古の森を訪ねませんか』 (大阪市立大学理学部附属植物園) 新型コロナウイルス感染症拡大予防対策のため第3企画を中止 合計 83万円(チラシ作成・送料代含む)
	全会員	情報発信サービス	教育後援会ホームページを運用し、教育後援会支援事業の実施案内・募集案内を掲載するとともに、書類の電子化により申請手続きの簡素化および迅速化を図る。
		会報の発行	3月上旬に「教育後援会報 第7号」発行 64.5万円(送料含む)
保護者会員 支援会員 旧学友会員	電子メール利用サービス	旧学友会員に生涯メールアドレスを供与し、メール転送サービスを実施。	